

安寿らぎの友

第87号

 安土町老人クラブ連
 広報部発行
 TEL・FAX 0748-46-4981

高齢者に関係する

「法」部改正の概要について

安土町老人クラブ連合会

会長 末房 松三

初秋の候、会員の皆様には、ますますご壮健にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日ごろは、安土町老人クラブ連合会の各般に亘りご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私達高齢者にとって、近年ますます厳しさが増しています。昨今、この度、いくつかの法改正の中で身近なことを申し上げ参考にしていただければ幸いです。

二〇一五年四月から介護保険制度が改正され八月以降利用者の負担額が引き上げられるなどの大きな改正がされました。

今回の改正では、大きく変わるポイントが三つあります。一つ目の改正ポイントは、特別養護老人ホームの新規入所の要件変更です。既入居者を除き、

原則として要介護3以上に限定されることになりました。

二つ目の改正ポイントは、地域支援事業の見直しです。これまで要介護度が比較的軽い「要支援」の認定を受けた人が使う訪問介護や通所介護の予防給付によるサービスは、全国一律に行われていましたが、今後は地域支援事業として市区町が独自に提供することになります。

そこで自分でできることは自分でする「自助」や、ボランティアなどの非営利団体等による「互助」をもっと促進するというのが今回の改正の狙いです。要介護度の高い人には、専門家による介護・医療のサービスを、要支援者や要支援予備軍は、様々なかたちでサービスに移行します。

また、買い物困難な高齢者への宅配サービスや、一人暮らしの高齢者の見守りなど、今後市区町ごとに、公的な制度以外の多様なサービスの提供が期待されます。

三つ目の改正ポイントは、介

護サービスの利用者が支払う金額が変わることです。一定額以上の収入がある高齢者は、支払う金額が増えることになります。これまで介護サービスの利用者が負担するのは費用の一分割でしたが、今年の八月利用分以降は、一定額以上の所得がある65歳以上の被保険者は二割負担となります。

この改正に伴い、介護保険サービスの一割分を支払う。この自己負担割合は二〇〇〇年四月に始まった介護保険制度の見直しはありませんでしたが、この八月から一定以上の所得がある人は二割になります。自己負担割合が一割か二割かは、市区町が今年から毎年発行する負担割合証で分かることになります。市区町村民税の額に基づき八月一日を基準日に判定され八月中旬ごろから順次お手元に届くことになっています。

「一定以上の所得」とは、単身で収入が年金だけなら年間280万円以上。一割か二割かの判断は世帯ごとではなく、個人ごとに行われます。

例えば、夫婦の年金収入が合計400万円、夫の分が280万円、妻が120万円なら、自己負担は夫が二割、妻は一割になり、200万円ずつなら、二人とも一割となります。

介護サービスの費は、利用者の自己負担のほか、税金や40歳以上が支払う保険料で賄われます。高齢化で利用者が急増し、財政負担は重くなっているため、負担できる人に多めに払ってもらおうというのが狙いとも言われています。

今回の介護保険制度の改正についての概要は一部ではありますが報告に代えさせていただきます。

主な行事

9月11日(金)

第29回安土町老人クラブ大会

10月15日(木)

第21回グランドゴルフ大会

10月26日(月)

さつま芋掘り

10月31日(土)～11月1日(日)

文化祭作品展

11月12日(木)

滋賀県老人クラブ大会

11月26日(木)

友愛のつどい

11月30日(月)～12月1日(火)

秋の旅行

旧富岡製糸場と磯部温泉

1泊2日の旅

10/15(木)

第21回

グランドゴルフ大会

11/30(月)～12/1(火)

秋の旅行
旧富岡製糸場と磯部温泉
1泊2日の旅

単老活動報告

福之島辨財天の 草刈清掃奉仕

永町老人クラブ

会長 善住 喜平

永禄二年、信心深い漁師豊浦の文吉と、浪速の米問屋主人勘兵衛の尽力で、近江国安土豊浦の浜に弁才天が安置されました。湖中に小島が浮かんでいたその後、小中の湖が干陸した為、地域の住民が堀を作り現在に至っています。



ています。

毎月一日はお参り、四月第三日曜日の大祭、八月一日は千日祭、年末年始のお参り、二月三日は節分祭が地元は勿論遠方より多数お越し頂き盛大に挙行されています。

その都度、年四回永町老人クラブ会員（約六十名）が草刈清掃を御奉仕しています。

中屋老人クラブ

寿会活動

中屋老人クラブ

会長 西村 勝

平成十九年より地下五カ年事業としてスタートした環境保全取組

今年は、中屋地下事業の協力団体、婦人会、子ども会等とともに、当老人会も事業の構成委員として参加、第一次五カ年事業は、平成二十三年で終結し、第二次計画として二十四年四月から始めた四年目にあたります。

我々の生活を取り巻く環境は実に多彩で、基盤が農業である中屋住民にとって、水資源の管理は重要な課題の一つであります。

当老人クラブの活動は、水田における適正な水管理、各水田のパトロール点検を行うことで、水のかけ流し、排水口（尻水戸）、畦の水漏れを防ぐと言うものです。



毎年五月中半～九月始めまで、一週間毎に二名交代の当番制を取り、八十五歳以上の会員を除き、延三十二名の男性で活動しています。



旅行大好き

永町 清水文雄

親睦旅行・安土町老人クラブ連合会の「高野山開創一二〇〇年記念と南紀白浜温泉一泊二日の旅」に、参加させてもらった。いつもの名鉄観光バスが、下豊浦農協倉庫前まで迎えに来てくれた。朝早くから老人会の役員の方々が、飲み物とおやつ等を、あわただしく持ち込んでくれていた。「おはようございます！今日は宜しくお願いします」又、「今日は良い日になって助かったわ！と、楽しい会話が飛び交う。

バスは竜王インター横のコンビニ二駐車場で、三台が合流して、名神・近畿・阪和道を走った。昼食は、日高川で済ませ、後、千畳敷のある浜へ行きました。その浜の岩の図柄が、モザイクで作られた様な自然の、いとなみのイタズラの模様には、感銘を受けました。その岩に含まれる鉄分が酸化して、いろんな模様を創り上げる内容だ。その日の夜は、白浜温泉での一泊だった。宿は、白浜温泉「ホテルむさし」だった。旅館の中では、宴会が始まる会長挨拶・高年齢者の元気で参加賞・又、老人会に功績があった方々への、

功労賞等が、名鉄観光及び老人会会長より贈られた。その後、その後年の方の乾杯発声宴会



開始となりまして、何時ものパターンで、賑やかなカラオケタイムとなります。私は何回となく下手なカラオケを歌って来ました。「永町の清水デース・ヨロシク」で始まり「兄弟船」「骨まで愛して」「夜霧よ今夜も有難う」「黒い花びら」・・・の歌が始まる始末です。次の日は、とれとれ市場での御土産の買い物です。「巖のり」を買いました。竜神高野スカイラインで、高野山へ行き昼食も取って、奥の院の拝観もさせてもらった。久しぶりに仏心の崇拝気分になりました後、柿の葉寿司店へ行き又、土産買いになりました。これと言った渋滞も無く、無事に安土に着くことが出来ました。下手なカラオケ聴いて下さった方々に、感謝致します。「ありがとうございます」・又を、楽しみにしています。

老蘇幼稚園と

「いも苗植え」

6月5日(金)に老蘇幼稚園児を招いて、幼稚園裏の畑でさつまいもの苗植えを行いました。秋の収穫が楽しみです。

「いも苗植え」のお礼

紫陽花の花が色づきあざやかな季節となりました。

先日は、いも苗植えをさせていただきありがとうございました。

今年度は、老蘇学区にいも畑をつくってくださり、子ども達はいも苗植えに行くことを楽しみにしていました。

長靴をはいて、やる気いっぱいの子ども達。いも苗の植え方を丁寧に教えていただき、「自分達でいも苗を植えたぞ」と、いう思いになったことでしょう。広い畑に、いっぱい苗を植えて、収穫の秋がとて楽しみます。「大きくなれ、大きくなれ」と思いを伝えていました。収穫の時期にも声をかけてくださいね。いもが大きくなるのを楽しみにしていますね。お世話が大変でしょうがよろしく願います。



また、みんなでいもの成長を見に行きたいと思っています。

地域の方がこうして、素晴らしい体験活動を経験させてくださることは、本当に嬉しく有難いことと感謝の思いでいっぱいです。

どうか、今後とも老蘇幼稚園の子ども達の成長のために、ご協力ご支援をいただきますようよろしくお願いします。

梅雨の季節になりました。どうぞ体調には十分気をつけてくださいね。

簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。

平成27年6月11日

老人クラブの皆様

近江八幡市立老蘇幼稚園

園長 園田 泰子

安土老々ふれあい活動



信長まつり（着付け手伝い）
6月7日（日）



ニュースポーツ大会 6月18日（木）
トリコロキューブ 優勝 福原孝三（桑実寺）
ピーンボーリング 優勝 安田庄蔵（西老蘇）
マグダーツ 優勝 平尾貞雄（安土）



料理教室（女性部活動）
6月26日（金）



友愛のつどい 6月30日（火）

お礼

拝啓 残暑の候、貴殿におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当荘の運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る8月4日に当荘の納涼盆踊り大会を開催いたしましたところ、何かとご多用にもかかわらず、ご参加いただき有り難うございました。お陰をもちまして盛大

の内に終えることが出来ましたことに、心より感謝致しております。

また、その節は、過分のご厚志を賜り、誠に有り難うございました。

貴殿ならびに関係各位や、地域の方々に支えられ当ホームが運営出来ますこと

に感謝し、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ますますのご健勝を心より御祈念申し上げ、略儀ながら御礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具

平成27年8月12日

安土町老人クラブ

連合会 様

老人ホーム安土荘

所長 吉川 鐘子



老人ホーム安土荘盆踊り 8月4日（火）

文芸作品

短歌 (自由)

俳句 (自由)

川柳 (婚活)

冠句 少子化

情歌 西の湖

読み込み

上下折どちらでも可

短歌 自由

わが家前の メイン通りを
リュック背に 城址訪ふ人

「ようこそ安土へ」

中村 悠紀

南天を 伝ひて上る 朝顔の

濃きむらさきを 今朝もかぞへぬ

中村 悠紀

青葉若葉 戦国武将 お姫さま

信長公の 笑顔楽しも

真葛 しげ

炎天下 汗滴りし わが身体

異常気象か 水あび欲しがる

平尾 良雄

夕立の 激しき間を 割く閃光は

涼風誘う 悠久の一服

平尾 良雄

手習いの 八十と思ひ 手が震う

パソコン見つめ 余生は長し

大川 勇

青き海 背にして映えし 千枚田

豆粒程の 草焼きし人

松本 久枝

俳句 自由

遠き世に 思ひは馳^はせる 信長まつり

真葛 しげ

きらきらと 舟に揺られて 夕涼み

中澤 栄子

夏の日の ビール片手に 夕涼み

中澤 栄子

巢立ちせし 子ツバメ護れや 雨後の月

森 幹生

短冊竹 ボケない「用」にと 早ボケて

森 幹生

右左 分かれぬままに 伸びる蔓

大川 勇

まなうらに 母の笑顔や 麦の秋

松本 久枝

川柳 婚活

嫁として 嬬^{かあ}となる女 草むしる

大川 勇

婚活し やり直したい 人居そう

森 幹生

婚活は 異性相手に しなはれや

森 幹生

婚活を 義務教育に 必修に

森 幹生

婚活に 夢を重ねて 笑み絶えず

松本 久枝

冠句 少子化

少子化 畝^{あき}のさがりも ちと粗う

森 幹生

少子化 地方が綻ぶ その先は

森 幹生

少子化に 田舎の良さを 克明に

松本 久枝

情歌 西の湖

親につづいて カルガモ家族

葦が住み家の 西の湖に

大川 勇

西の湖眺む 四季移ろいの

人情豊か 生きる幸

松本 久枝



老人クラブ傷害保険

お手頃な保険

何歳でも / お一人でも / いつでも

加入年齢に制限なし

掛金の年齢割増なし

印刷物のご請求、保険加入等に関するお問い合わせ

都道府県・指定都市老連、市区町村老連または

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 (保険係)

03-3597-8770 (受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝祭日休))

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目5-1 霞が関Hビル 電話03-3597-8770

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

(担当課) 医療福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険、普通傷害保険)の内容について紹介したものです。詳細につきましては、「[重要事項]」を必ずご覧ください。またご加入にあたっては、必ず「[ご加入の際の注意事項]」「[重要事項説明書]」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。全労連保険ホームページ(<http://www.senior-ld.com/>)でもご確認ください。

平成25年10月1日改定

平成25年9月1日以降の
お申し込みから適用

総合型		年間掛金 3,500円
24時間いつでも、どこでもケガが心配 という方におすすめ		
年間掛金	総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況	クラブ活動型	24時間型
	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円 91万円
	後遺障害保険金 (クラブ活動中のみ対象)	136万円
入院保険金日額 (1事案につき30日限度)	45万円	45万円
	1,000円	750円
通院保険金日額 (1事案につき30日限度)	1,750円	1,750円
	650円	500円
	1,150円	1,150円

文 芸 作 品

句歌募集します

短歌(自由)

一首

俳句(自由)

一句

川柳 夢ごころ

一句

冠句 浮き沈み

一句

情 歌 老恋(おいごころ) 一声

読み込み

どちらでも可です。

上下折

※句歌は紙面の都合で

一人一作品でお願いします。

投句場所

老人クラブ連合会事務局

安土町下豊浦四一八七の三

投句締切日

平成二十七年十一月十五日

No.10 数字パズルへの挑戦

今号の問題

□ 枠内の合計はいくつになるでしょう

□ + □ = □

	4		9	6				8
7				1			4	9
	5				2		3	7
6				2			8	
5						4		
3				5			7	
	7				1		5	3
1				3			6	4
	3		6	7				1

第78号からパズル問題を掲載しておりますが解いた後、解くのにかった所要時間を記録しておくのは、如何ですか！

前号のこたえ

答 8 + 2 = 10

8	6	1	3	7	5	2	4	9
3	2	7	9	4	8	5	1	6
4	9	5	2	6	1	3	7	8
1	7	3	5	8	9	6	2	4
5	8	6	1	2	4	9	3	7
9	4	2	6	3	7	1	8	5
7	5	9	8	1	2	4	6	3
2	3	4	7	9	6	8	5	1
6	1	8	4	5	3	7	9	2

解き方の2大ルールは次の通りです。

1. タテ列の9マスとヨコ列の9マスに1～9の数字が1つずつ入る。
2. 太い線で区切られた3×3の9つのブロックの中にも1～9の数字が1つずつ入る。

広報編集委員

梅原修 三橋良一 東育子 稗伸子 深尾清 廣幸

編集後記

地球温暖化のせいか暑い暑い夏も過ぎ会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。秋号の発刊に当たり春の親睦旅行や文芸作品など多くのご投稿をいただき感謝しております。

またニュースポーツや友愛の集いなど多くの行事にもご参加をいただき老人クラブがあつてこそ楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

各単老におかれても会員一人一人が仲間を誘い、新規会員を一人でも多くお勧めいただき健康で長生きが出来るシルバー世代を作って行きたいものです。我々広報編集委員でもいろいろ考えて編集をしておりすが、会員皆様のお声をお聞きしながらよりよい会報「安寿らぎの友」を編集して行きたいと思っております。